



社会的取り組みの状況

N プロジェクトの活動について

新体制の発足

当社は、2014 年度からダイバーシティ推進の一環として、N プロジェクト（以下、N プロ）という名称で女性活躍推進に取り組んでいます。

N プロ発足後 2 年間は女性社員を中心としたメンバー構成で、活動内容の立案から実行まで、女性社員が主体となって進めてきた結果、ダイバーシティという言葉が社内で使われるようになり、その言葉の意味や必要性が徐々に浸透してきています。

そして、3 年目となる 2016 年度、N プロはその活動を加速させる効果を狙って、経営戦略の一つに位置づけ

られ、社長直轄のプロジェクトとしてトップダウン型の新体制で活動を再スタートさせました。

新体制下の議論では、女性の活躍そのものに焦点を当てていたこれまでの活動から進化し、女性の活躍の阻害要因や障害となる長時間残業や育児・介護の課題などを取り除くこと、さらには働き方改革などにも目を向けた取り組みを進めています。

これにより N プロの目的は再定義され、これから新たな段階へと進んでまいります。

N プロの目的

〈背景〉

生産年齢人口の減少によって企業は人材確保が難しくなる。
様々な制約や価値観を持つ社員で構成される時代が目前に迫る。

〈考察〉

こうした“働く人の数と構造の変化”に順応し、企業が成長し続けるには、社員一人ひとりの違いを認識し、全社員が持つ能力と可能性を最大限発揮できる組織であることが必要。

〈目的〉

誰もが能力を発揮し、成果が出せる働きやすい組織・職場の実現



N プロ事務局メンバー



ミーティングの様子

健康経営優良法人（ホワイト500）に認定

「健康経営」を実践する会社として

2017年2月、「健康経営優良法人2017（ホワイト500）」に当社が認定されました。

健康経営優良法人認定制度とは、経済産業省が日本健康会議と共同で2016年度から新たに開始した、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。

当社は、経営トップが積極的に社員の健康保持・増進の方針を示し、「個人と組織の健康リスク低減」、「個人と組織の健康度向上による職場活性化」、「家族を含めた健康保持増進」を3本柱に取り組んでいます。

2013年からストレスチェックを導入、個人と職場の

ハイリスクアプローチを実践しており、メンタル病気療養者の病欠日数は年々減少しています。

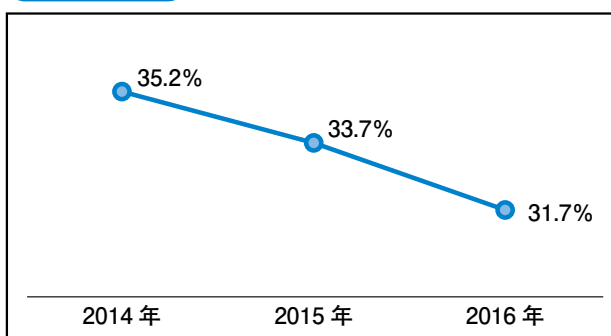
社員や被保険者参加イベントでは健康保険組合と連携し、60日間の健康チャレンジキャンペーンを実施しました。社員の参加率は95.3%で、参加企業中で上位の参加率となりました。工場給食は、社員の健康を考えた野菜たっぷりメニューを増やしています。また、2015年より禁煙の推進に取り組んでいて、禁煙の推奨や全社員対象のe-learningによる禁煙教育を行い、前年度より2%喫煙率減少を実現しました。

今後も当社は、「健康経営」を実践する会社として取り組んでまいります。



健康経営優良法人2017（ホワイト500）ロゴ

喫煙率の推移



健康チャレンジキャンペーンパンフレット



禁煙推進ポスター



工場給食「野菜たっぷりメニュー」



労働安全衛生の取り組み

リスク・災害のない職場実践のために

2016年度は、「災害防止とは、決められたことを『当たり前』に行う毎日」をスローガンに以下の主な実施項目を掲げ取り組みました。

●「リスクアセスメントに基づく本質的・物理的対策を優先した確実なリスク低減」として

- (1) 高所作業における墜落・転落防止対策の徹底
- (2) 部門に特有なリスクの高い作業、作業条件・環境に対するリスク低減
- (3) 化学物質の管理・取扱いにおけるリスクアセスメントの実施を中心に実施しました。

特に化学物質のリスクアセスメントについては、法改正により新規に使用する物質に対して実施が義務付けられたこともあり、全社で共通のフォーマットを作成してリスクアセスメントを行い月次の全社安全担当者会議にて進捗フォローをしながら取り組みました。

●「定点観測の実施、教育・指導の強化、作業環境改善の推進による行動災害の撲滅」として

- (1) 静止観察による不安全な行動や状態の是正
- (2) 作業経験年数3年未満者及び若年者への教育・指導の強化
- (3) 熱中症災害の撲滅を中心に実施しました。

特に3年未満者への教育については、過去に発生した労働災害を題材とした「安全ビデオ」制作し、なぜ災害に至ったのか受講者に考えさせながら具体的なリスクを想定する教育を行いました。また、毎朝行っているKYミーティングのレベルを向上させ、常にリスクを想定し作業するためKYTトレーニング教育を職場の要となる班長などを対象に実施しました。しかし、災害件数は、会社発足以降ワーストに近い数値となっていました。2017年度は、『危険源や不安全行動を排除し、「安



全」という価値を創造する』としたスローガンとリスクの洗い出しの方法の改善、一人ひとりの意識の向上（ひとりKYのレベルアップに向けた教育）とした全社方針を受け、以下の実施項目を行い、「災害のない職場」「リスクのない職場」を目指します。

●「リスクアセスメントその他の安全衛生活動による危険源の洗い出しと対策の徹底」として

- (1) リスクアセスメントによる職場特有のリスク排除の取り組みの実施
- (2) 従業員、協力会社へのKYT教育の実施を中心に取り組みます。

特にリスクアセスメントについては、改善状況の進捗確認を行いながら取り組んでいきます。また、リスクを

洗い出す着眼点教育を行い、漏れのないリスクの洗い出しを目指します。KYT教育については、職長会とタイアップし取り組み、受講者を拡大すべく教育を実施します。これにより日々のKYミーティングをレベルアップ、一人KYのレベルアップを目指します。

●「定点観測の実施、教育・指導の強化、作業環境改善の推進による行動災害の撲滅」として

- (1) 静止観察の継続と、観察者のレベルアップによる行動災害の撲滅
- (2) 経験年数5年未満者および若年者等への教育・指導の強化
- (3) 熱中症災害の撲滅のための諸施策の実施を中心に取り組みます。

特に静止観察については、従来の工場単位や安全担当

者による巡視に加え、違った目で職場を観察する取り組みとして女性も加えた全社パトロールを実施します。株主によるパトロールも含め、工場部門、建設部門をきめ細かく巡視していきます。5年未満者への教育については、これまで整えてきた教材である「危険体感コーナー」「安全ビデオ」を活用し、経験不足による災害を発生させないための教育を行っていきます。

安全衛生方針

労働安全衛生は、会社経営において最も重要、かつ基本的事項の一つであり、従業員の安全と健康を守ることは、人間尊重の理念に立脚した会社の社会的責務である。

この基本的考え方に基づき、職場における日常の安全衛生管理体制を一層強化し、特に管理監督者は常に危険に対する感受性を磨き、的確な安全指示をすることが必要である。

また、合わせて心身両面に亘る健康の保持増進のため、従業員一人ひとりが意識を高め、職場の安全は自ら守り、相互に指摘し合える風土を作ることで、全員参加のもと災害・疾病のない快適な職場環境作りを推進する。

1. 職場の潜在的な危険、有害要因を根本的に取除き、真のゼロ災害を目指すため、従業員、協力会社従業員全員参加のもと継続的な安全衛生活動に取り組みます。
2. 労働安全衛生法をはじめ関係する法令を遵守するとともに、会社及び事業所で定めた安全衛生規程類に基づき従業員の安全衛生を確保します。
3. 従業員の疲労軽減及び心の健康の保持増進を図ります。
4. 安全衛生委員会等の安全衛生パトロール、ヒヤリハット、気がかり提案、災害事例からきめ細かく分析した結果等に基づき達成目標を定め、この目標を達成するための方法や実施時期も合わせて、事業所の安全衛生計画を策定します。
5. 労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）の活動を推進し、リスクアセスメントによる「危険ゼロ」の職場を作ります。